

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	小児保健論		
担当者(Instructors)	尚 爾華	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<b>■ 授業の目的と概要(Course purpose/outline)</b>			
<p>子どもの特徴は成長と発達にあり、大人とはまったく異なった生理と病態を示す。胎児期から新生児期、乳児期、幼児期の心身の特徴や発育過程の基本の知識を修得することが必要である。基本的な小児保健の知識と考え方を修得し、小児保健の役割・制度、家庭や地域との関係を理解すると共に、子ども一人一人の健康的な成長発達を援助することができるようになることを目標とする。</p>			

<b>■ 授業形態・授業の方法(Class form)</b>	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	基本は対面授業、3回程度メディア授業を実施する

<b>■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイドランスー小児保健の目的と意義	小児保健の目標、内容、現状及び今後取り組むべき課題について学習する。	<input type="checkbox"/>
第2回	胎児の成長一体内環境の影響	胎児の成長、胎盤の役割、赤ちゃんのデータ、胎内環境の影響（低体重児のリスク要因）について学習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	小児の成長一身体発育の特徴	発育・成長・発達の概念、発育期の区分、小児の身体発育の特徴（スカモン発育曲線）、カウプ指数、成長の影響因子について学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	小児の発達一脳・感覚器	小児の精神機能の発達（認知、言語、情緒、行動）、運動の発達（粗大運動、微細運動）について学習する。	<input type="checkbox"/>
第5回	発達の評価	各年齢の発達評価テスト、発達評価指数、乳幼児健康診断について学習する。	<input type="checkbox"/>
第6回	小児の消化・吸収、乳児期の栄養	母乳の栄養（母乳と牛乳の違い、母乳の利点と問題点、母乳の与え方）、人工栄養、混合栄養、離乳（離乳の必要性、離乳食）について学習する。	<input type="checkbox"/>
第7回	幼児期の栄養、学童期・思春期の栄養	幼児期の食事の特徴、学童期・思春期の栄養及び食生活の問題点について学習する。	<input type="checkbox"/>
第8回	小児の心理、知能、情緒、社会性の発達とその保健	人格の発達と母子関係、人格の形成、対人関係（大人との関係、子供どうしの関係、）について学習する。	<input type="checkbox"/>
第9回	乳幼児の日常生活における保健指導	食事、睡眠、衣服、遊び、排尿・排便、入浴の日常生活における保健指導の方法について学習する。	<input type="checkbox"/>
第10回	子どもの感染症及び染色体異常	各種ウイルス感染症（はしか、風疹、日本脳炎、インフルエンザ、ウイルス性肝炎）、各種細菌性感染症（ブドウ球菌感染症、大腸菌感染症）について学習する。染色体異常（ダウン症、性染色体異常）について学習する。	<input type="checkbox"/>
第11回	子どもの主な症状と救急処置	バイタルサイン、緊急を要する症状（心配停止、ショック、呼吸困難、意識障害）、一般の症状（発熱、咳）の特徴、家庭での処置、重症度の判断について学習する。	<input type="checkbox"/>
第12回	障害児の保健指導	知的障害児、肢体不自由児、聴覚障害児、視覚障害児、病弱児の保健指導について学習する。	<input type="checkbox"/>
第13回	児童虐待とその対策、児童福祉、乳児院と里親制度	児童虐待の現状、児童虐待による身体状況と精神症状、早期発見とその対応について学習する。映像教材を視聴し、児童福祉施設や里親制度について学習する。	<input type="checkbox"/>
第14回	小児保健に関するプレゼンテーションの基本を学習する。	小児保健分野の課題について調べ学習をし、プレゼンテーション資料を作成する。	<input type="checkbox"/>

第15回	復習とまとめ	課題レポート復習、全体のまとめをする。	□
------	--------	---------------------	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前に配布資料やインターネットで授業テーマと内容を予習し（2時間程度）、授業後に課題レポートを作成する（2時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題・レポートは翌週フィードバックし、解説とともに解答例を提示し、全体で共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	子どもの発育、健康増進に関する専門的知識と実践的能力を身につけている。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019人間健康DP2	こどもの発育の特徴を理解し、疾病予防、健康増進および福祉分野における課題について、解決方策を探求できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内課題とレポートを平常点として評価する。毎回授業時間内に出欠を取る（合計15回分）。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		